

トーキングチップ (Talking Chips)

【概要】



トーキングチップはグループ内で議論を行う際に用います。トーキングチップ（発言数がわかるもの）を用いて学生の発言数を制限する事でグループメンバー全員に発言機会を与える事ができます。また、一人ひとりの発言数を制限する事は、発言をする前に発言内容を精査する事にも繋がります。英語の授業など、得意な学生に発言が偏りがちな場合、導入してみてください。

【目的】



- グループメンバー全員に発言の機会を平等に与える
- 発言をする前に発言内容を精査させる

【所要時間の目安】



- やり方の説明：約2分
- 議論：約10分（グループのサイズによって調整する）

【準備物】




○発言数を数えるもの。紙にメモをしてもよいし、割りばしなど発言数が可視化されるものを準備する。議論開始前に配っておく。

活動サンプル

活動の流れ


①やり方の説明 (2分)

- ・議論のテーマを説明する
- ・グループを作る
- ・トーキングチップを配り、説明する 

②役割の決定 (1分)


- ・書記や発言数の管理者を決定する

③議論 (10分)


- ・一人ひとり自分の意見を言う 
- ・発言する際にはトーキングチップを出す
- ・管理者は発言している人のトーキングチップを回収する
- ・次の話者は、発言する前に必ずトーキングチップを出す

留意点

ルール作りが鍵！

 議論が盛り上がると、ついついトーキングチップを出さずに発言する人が出てきます。そうならないよう、管理者や書記の役割が重要であることを強調してください。

「質問の扱い」が鍵！

 質問する事を発言とみなすかどうかを予め決めておくと議論がスムーズになります。質問がなければ議論が深まらない場合もあります。

テーマや受講生の習熟度に合わせて調整をしてください。